

トルコ
交友
120周年



右／串本町から貸し出されたトルコ軍艦エルトゥール号の復元模型。企画展終了後は串本のトルコ記念館で見る事ができる。

左上／エルトゥール号の歴史や国内線の地などが紹介された。

左下／船の科学館外観

場所／東京都品川区東八潮3-1

電話／03-5500-1113



「トルコにおける日本年」のために訪土中の和歌山県知事。メルシン市の串本通りをパレード。多くの市民に歓迎された。

日本とトルコの友好の 歴史を紐解く企画展

日本への親善使節を乗せたトルコ軍艦「エルトゥール号」の沈没から120年。海を越えて今も続く両国の友好関係。しかし日本人でこの事件を深く知る人はあまりいない。

そこで日本とトルコの交流史を知るきっかけになればと、東京台場の「船の科学館財団法人日本海事科学振興財団」で、8月7日から9月23日まで、エルトゥール号に関する企画展が行われた。

「日本人はトルコに関してあまり知識がありませんが、トルコでは小学校の教科書に遭難の話だけで

なく、日本について多く記述されています。来場したお子さんに興味を持ってもらえる様に、遭難事件のビデオを流したり、分かりやすい展示を心がけました。そうして日本とトルコの良好な関係を次の世代にも受け継いでもらいたい

と言うのが、今回の大切な趣旨です。今年6月串本町に移設されたアタチュルク像の修復場所となったのも船の科学館でしたので、何か和歌山にはご縁を感じます」と今回の企画を担当した学芸員の齋藤さんは笑顔で語った。

今回の企画を担当した学芸員の齋藤さんは笑顔で語った。

串本町が自治体では 初の外務大臣表彰を受賞



国際関係の様々な分野で活躍し、我が国と諸外国との友好親善関係の増進に特に顕著な功績のあった個人および団体の功績を称える「外務大臣表彰」。地方自治体としては全国で初めて串本町が受賞した。同町は明治23年トルコ軍艦エルトゥール号遭難事件以来、日本・トルコ関係における「両国友好関係の原点の地」として、120年の長きに渡り友好親善の促進に貢献。この功績が高く評価された。

2010
2010年トルコにおける日本年

「トルコにおける日本年」とは、トルコ国内において日本の魅力を紹介する事業と共に、交流事業を通じて両国の友好関係をより一層深めようとするプロジェクト。また今年「トルコ交友120周年」の大きな節目の年である。今後のイベントスケジュールなどは外務省HPで確認できる
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/turkey/2010/index.html>